

5月19日(水)判決へ

1月13日の署名提出、宣伝行動、2陣2次提訴

国賠訴訟の勝利めざす 2月14日新春のつどい

午後2時から 阪南市サラダホールにて



新年おめでとうございませう。今年、泉南アスベスト国賠訴訟の判決の年です。ここまでのご支援に対して心からお礼申し上げます。また判決から解決まで、引き続きご支援とご協力をお願いするものです。この三年半の裁判を通して、私たちがこの裁判を象徴する言葉として示した、「国は知ってた、できた、でも何もしなかった」が、かなりの説得力をもって明らかになりました。勝利判決を必ず勝ち取るためには、裁判長が判決文

泉南勝たせる会ニュース

大阪泉南地域のアスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会

第10号

2010.1.7

連絡先
泉南地域の
石綿被害と
市民の会

Tel. 072-483-4981
Fax 072-484-0641

を書いている間、ずっと世論の力を示していくことが重要です。何よりも判決がでる五月十九日まで「公正判決三〇万署名」を四〇万、四五万と集めていきましょう。

勝利判決を勝ち取った後も、国に控訴させない、早期解決をめざす運動が必要。また、勝利判決を石綿被害で苦しむ人たちが全員

の救済につなげることも必要です。政権が代わりました。民主党は、政策集「インデックス二〇〇九」のなかで、「石綿新法の救済レベルを労災と同レベルに引き上げる」、「石綿肺などを救済対象に加える」、「家族や周辺住民への無料健診などを確立する」、「時効期間が過ぎても請求できるように」、「当該企業が倒産などの場合は国による健診などの制度」、そして「ノンアスベスト社会

署名提出予定日

12月24日現在 34万5千余り

1月13日、27日、2月10日、24日、
3月10日、24日、4月14日、28日、
5月12日

昼12時から淀屋橋と裁判所北門で宣伝行動を行い、そのあと署名を提出します。

「アスベスト惨禍を国に問う」

ぜひ、お読みください。1050円(税込み)



の実現」を掲げています。国には、この実行をせまっています。判決は参議院選挙の直前で決す。民主党をはじめ、各党派・会派国会議員の賛同もひろげていきましょう。

必ず勝利判決を勝ち取るとともに、国に控訴させず被害者の全面的な救済を実現すること、これらのことを結びつけて世論を広げていくことが大事です。

すでに、泉南市、阪南市、岬町、泉佐野市、泉大津市、

河内長野市などで、国に対して泉南のアスベスト被害の早期解決等を求める意見書が超党派で採択されています。これを府内全体に広げていくことも大事です。

二〇一〇年は勝利判決と早期解決の年、年明け早々から、すべてのことをやりきり、勝利判決、早期解決に向けた大運動を作っていきます。

二月十四日(日)午後二時から「泉南アスベスト国賠勝利めざす二〇一〇新春のつどい」(阪南市「尾崎」駅前サラダホール)を開きます。ぜひご参加ください。

泉南現地での署名を積み上げ勝利へ

全国キャラバンに参加した岸さんのレポートです

十月十五・十六日、全国キャラバンに参加した岸さんのレポートです(要旨)。

十月十五・十六日、東京なくせじん肺全国キャラバン行動に越尾弁護士、澤田さん、南さん、石川さん、岸の五人で行かせていただきました。

十二時日鉄鉱業本社前に集結、厳しい門でしたが、マイクで抗議の声を響かせました。二時から三井金属工業の本社に行きイタイ病の抗議をしました。横断幕を持って並びましたが、会社は本当に冷たく皆さん嘆いていました。じん肺の人で佐賀県から来て、和歌山有田のトンネル仕事もしたと言っていました。十八時三〇分から大集会。主催者挨拶、社民党重野議員、共産党議員が皆さんの苦しみを議会で取り組みますと言ってくれました。香川県リゾートソリニョンアスベスト勝訴のお礼で原告全員登壇。全国の団体が会場いっぱいでした。

泉南アスベストは越尾弁護士が今までのいきさつや、地場産業だった事、原告の苦しみを訴えてくださいました。南さんが代表で父親の介護、トイレの大変な事、また早く死んでとか、自分自身の身体限界、介護の事を訴えてくださいました。

十六日厚労省、環境省前宣伝。私達はピラくばり、越尾弁護士が宣伝カー上で泉南アスベスト石綿の事を訴えました。各記者クラブ行きお願いしました。その後参議院会館へ行き自民、公明、民主、共産の各議員を回りしました。先生方の力強い支援宜しくお願いいたします。

とても強行なスケジュールでした。足が棒のようにになりました。

帰りの新幹線もひとつ遅れましたが頑張ってきました。三人無事、帰宅出来た事お礼申し上げます。ありがとうございます。

大阪府下自治体への決議要請行動で次々に決議の採択がすすんでいます。

大阪府下自治体への決議要請行動が展開され、これまで阪南市、泉南市、岬町、泉佐野市、泉大津市、河内長野市の五市一町の議会で採択されました。要請している決議内容は次のような内容です。

当該自治体の石綿工場などを事前調査して、当市にも「〇〇石綿」などの工場が操業し埋もれた被害を含めて深刻な被害が今後も今後も予測される。府下で一番被害の大き

かった泉南地域では国の石綿規制の遅れにより被害が拡大したと国家賠償裁判も行われている。

建物などに一〇〇〇万トとも言われる残存石綿による被害をくいとめるためにも被害救済に国が積極的に取り組むことを要望する。



特に、泉佐野市議会で「国に対し泉南アスベスト被害の早期の解決・救済を求め」意見書が全会議員(自民)の地元です。

泉南市 向井市長の答弁

泉南市、二〇〇九年十二月九日の定例議会で、「アスベスト被害についての国の責任をどう考えるか」との質問に、向井市長は、以下のような答弁をしました。

「欧米では、早くに規制していたのに、わが国は対策が遅く、長年アスベストの使用を認めてきた。代替品がなかったという理由があるのかもしれないが、人体に悪影響を及ぼす、被害を及ぼすことは指摘されていたわけで、早くに規制されていなかったことは問題だ。」

阪南市、泉南市、岬町、泉佐野市、泉大津市、河内長野市の各議会で「早期解決のための政府への意見書」採択